

らんどせる

笑顔が輝く港小学校

～みんな前向き、主体的～

港小学校 学校だより 令和4年7月20日

〇いよいよ夏休み

令和4年度が始まり、あっという間に約4か月が過ぎ、明日から夏休みです。今年度は、一昨年度からコロナ禍で縮小したり中止したりしていた活動を少しずつ再開することができ、子どもたちの笑顔や元気な声が学校にあふれ、とても嬉しく思います。

全く以前の通りとはいかないまでも、with コロナの生活が定着し、落ち着きを見せていた矢先に、急激な感染拡大が始まりました。

明日からの夏休み、引き続き新型コロナウイルス感染症予防と熱中症予防に気をつけ、さらに、毎日の生活リズムを整え、健康に過ごしてほしいです。

〇笑顔が輝く港小学校～みんな前向き主体的～

昨年度、職員全員で「港小学校をどういう学校にしていくか」「港っ子が目指すのはどんな姿か」を話し合いました。そこで相談して決めたスローガンがこの言葉です。

授業、行事、その他のさまざまな活動で、いつもこの言葉を意識して取り組んでいきたいと考えています。

このスローガンは、港小学校の玄関に本校の職員が描いたすてきなイラストとともに掲示されています。



〇4月に決めた目標を振り返ろう（4年生でがんばりたいこと）

6月の全校朝会で、4年生の代表の子が「4年生でがんばりたいこと」というテーマでお話をしましたので、紹介します。どの学年の子たちも、4月に目標を考えたとします。夏休みを前に、自分が決めた目標について、この4か月どうだったかを振り返り、夏休みの過ごし方、さらに9月からの学校生活につなげてほしいです。

わたしが四年生になってがんばりたいことは、三つあります。

一つ目は、漢字です。社会の授業で県名を書くときに、習っていない漢字を書くときがあります。むずかしい漢字もかんたんな漢字も、さいごまで一生けんめいきれいに書きたいです。そうすると、早くおぼえることができると思います。また、自分で文章を書くときには、習った漢字は、がんばって使えるようにしていきたいです。

二つ目は、算数の計算です。四年生になって算数がむずかしくなりました。わり算の筆算では、かけたりわったり引いたり、いろいろな計算が出てきます。たくさん練習をして、すらすらできるようになりたいです。

三つ目は、ノートをきれいに書くことです。算数や国語でノートを使うことがあります。一ます空けたり、じょうぎで線を引いたり、四角で囲んだりすることを、早くきれいにできるようになりたいです。ノートがきれいに書けたときは、すっきりします。いつでもきれいにノートがとれるようにがんばります。

わたしは、この三つのことをがんばって、りっぱな四年生になりたいです。

<4年1組 齋藤 ヒカリ>

【裏面に続きます】

ぼくが、四年生になってがんばりたいことは、三つあります。

一つ目は、書き初めて金賞を取ることです。なぜなら、金賞をとるとうれしいし、ぼくは一年生から三年生まで金賞を取っているの、四年生も金賞を取れるように、ふだんから字をきれいに書いてがんばりたいです。

二つ目は、授業で手を上げることです。なぜなら、みんなの前だと、しゃべるのが苦手で、きんちょうして手を上げられないからです。これからは、分かることは手をたくさん上げて発言したいです。

三つ目は、あいさつをすることです。なぜなら、二つ目にも言ったように、しゃべることが苦手だからです。あいさつをすると、相手の人が気持ちよくなるからです。だから、もっと大きな声で相手よりも先にあいさつをしたいです。

これからは、この三つのことをがんばって、元気のいい四年生になりたいです。

<4年2組 酒見 健翔>

○港っ子の輝く笑顔がいっぱいです



遠足／3・4年生は中部公園に行きました



1年生と遊ぶ会／
2年生から1年生へ招待状を渡しています



レガッタ体験(6年生)／
当日は、強風で残念ながら実際にボートには乗れませんでした



鬼あかり作成(6年生)／
鬼師さんに教えてもらってランプシェードを作りました



しゃぼん玉(1年生)／
大きなしゃぼん玉ができました



花壇の苗植え(あおみ)／
地域の方と一緒にメイン花壇に花の苗を植えました



調理実習(5年生)／
2年間できなかった調理実習が再開。ゆで卵を作りました



まちたんけん(3年生)／
碧海町、田戸町、二池町
たくさん発見がありました